

リニア中央新幹線

長野・大鹿村からの報告



新型コロナウイルスは、私たちの生活を大きく変えました。テレワークやリモート会議等、移動せずとも可能なことが明らかになった今、多額の税金を費やし、環境・生活破壊をしてまで、リニア中央新幹線の建設は必要なのでしょうか？

南アルプストンネルの長野側に位置する大鹿村では、2016年11月から工事が始まり、コロナ下でも続いています。2019年の台風19号、2020年の豪雨災害により、アクセス道路が寸断されるなど工事は遅れています。今の大鹿村の状況について、村民の前島久美さんにお話しいただきます。

また、藤野での工事車両の運行に関する署名活動についても報告します。

日時：2月13日(土) 13時30分～16時
開場 13時15分)

会場 藤野中央公民館 3階大会議室 (JR中央本線 藤野駅より徒歩3分)

資料代：500円 (保育室(公民館1階)が利用できます)

内容 大鹿村からの報告 前島久美さん

相模原市藤野地域からの報告と意見交換



まえしま くみ

前島 久美さんプロフィール

2010年リニア計画の具体化をきっかけに住民有志の大鹿の100年先を育む会を仲間とともに発足。

村内の植生調査を主導した他、2013年～2016年10月まで同会の代表として村のリニア対策委員会に出席。

2017年同会脱会。

同年11月から大鹿の十年先を変える会に所属。

リニア計画の反対と平行して「持続可能な地域社会」の形成をテーマに活動中。詳細は南アルプスモニターで検索。長野県側の一大工事現場の村で大規模公共的事業と自治のあり方について模索する日々を過ごしている。

2018年12月迂回ルートを巡って公害調停をおこす。

2019年9月地権者としてJR東海と迂回ルートに関する契約書を締結。

*新型コロナウイルス感染症対策の観点から、咳エチケット(マスクの着用)、手洗いにご協力ください。

発熱や風邪症状のある方は、無理をせず参加をお控えください。

*コロナの状況により、開催変更の可能性もありますので、最新情報はお問い合わせください。

主催：リニア新幹線を考える相模原連絡会

連絡先：042(689)2142(河内正道)